

タブレット端末を用いてやりとりを広げる学習					
学校種	特別支援学校	学年	高等部 1 年	障がい種	知的障がい
対象の児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や音楽が好きで、体を動かしたり歌ったりして楽しむことができる。</li> <li>・発音は不明瞭ではあるが、相手に伝えようとする思いが強く、人前での発表にも意欲的である。</li> <li>・言葉で伝わらない時には、動作やジェスチャー、書字、プリント掲示などで伝えようすることができるが、伝わらないと諦めてしまうこともある。</li> <li>・人とのかかわりが好きだが、時折かかわり方を間違えてしまう。</li> <li>・手先の不器用さと、興味に移りやすいことから、身辺処理に時間がかかる。</li> </ul>				
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの機器操作を覚え、便利さに気付いて自ら使おうとすることができる。</li> </ul>				
必要な項目の選定 (6区分27項目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係の形成 (3) 自己の理解と行動の調整</li> <li>・環境の把握 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応</li> <li>・コミュニケーション (4) コミュニケーション手段の選択と活用</li> <li>(5) 状況に応じたコミュニケーション</li> </ul> <p>※ これらの内容を関連付けて指導内容を設定した。</p>				
具体的な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を使って、様々なコミュニケーション手段を知る。</li> <li>・タブレット端末を使って、教師や友達と積極的にやりとりする。</li> </ul>				
単元(題材)名	『タブレット端末で伝え合おう』			指導形態	個別
単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリケーションの使い方や面白さに気付き、意欲的に「好きなもの集め」に取り組むことができる。</li> <li>・タブレット端末を使って、先生や友だちとやりとりができる。</li> </ul>				
単元(題材)の計画	1 タブレット端末のアプリを使ってみよう		1 時間		
	2 好きなもの集めをしよう		5 時間		
	3 タブレット端末を使って先生や友だちと話をしよう		3 時間		
	4 総選挙の掲示物を作ろう		1 時間		
	5 活動を振り返ろう		1 時間		
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末の使い方の理解が進み、自分の「好きなもの集め」の活動に意欲的に取り組むことができた。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなものや載せたいものを、言葉で一音ずつ伝えたり、検索画面に文字入力をして示したりしながら、自分なりの方法で先生に伝えて作ることができた。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなものの一つである「仮面ライダー」の画像データをたくさん集め、先生方の一番好きな仮面ライダーを決める「仮面ライダー総選挙」を行った。</li> <li>・普段かかわりの少ない先生方にも積極的に話しかけ、タブレット端末の画面を見せたり、口を大きく動かして話をしたりするなど、相手に伝わるように工夫する姿が見られた。</li> </ul>				